

(6) 東海



東海地域では、景気は緩やかに回復している。

- ・ 鉱工業生産は緩やかに増加している。
- ・ 個人消費は緩やかに増加している。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す
(は上方に変更、 は下方に変更)

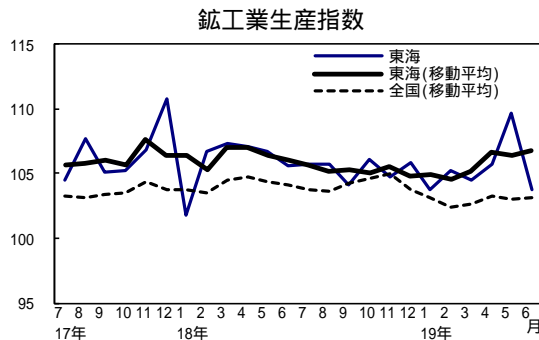
前回からの主要変更点

	前回(令和元年5月)	今回(令和元年8月)	
鉱工業生産	一部に弱さがみられるものの、 <u>緩やかに増加</u>	<u>緩やかに増加</u>	
個人消費	持ち直し	<u>緩やかに増加</u>	

1. 鉱工業生産の動向

鉱工業生産は緩やかに増加している。

4 - 6月期には、「輸送機械」は、国内向けの乗用車が堅調であることから、増加した。「電子デバ、電気・情報通信」は、スマートフォン向けの集積回路、液晶が減少したことから、減少した。「石油・石炭製品、化学、プラ製品」は、増加した。「汎・生産・業務用機械」は金属工作機械が堅調であることから、増加した。「鉄鋼業、非鉄金属、金属製品」は、減少した。



域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		1 - 3 月期	4 - 6 月期	4月	5月	6月
輸送機械	40.1	1.7	4.0	4.4	4.5	7.9
電子デバ、電気・情報通信	13.3	7.0	0.5	5.8	8.5	4.8
石油・石炭、化学、プラ製品	13.0	0.3	1.2	1.4	0.6	1.8
汎・生産・業務用機械	11.2	5.3	1.6	0.4	5.8	8.3
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	6.4	0.5	0.9	0.5	1.3	2.3
鉱工業	100.0	1.0	1.8	1.1	3.8	5.4

(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い15業種。

2. 4 - 6月期、6月は速報値。

(備考) 1. 2015年=100、季節調整値。東海の最新月は速報値。

2. 全国及び東海の太線は中心3か月移動平均。

直近月は2か月平均。

3. 東海は内閣府にて算出。

2. 個人消費の動向

個人消費は緩やかに増加している。

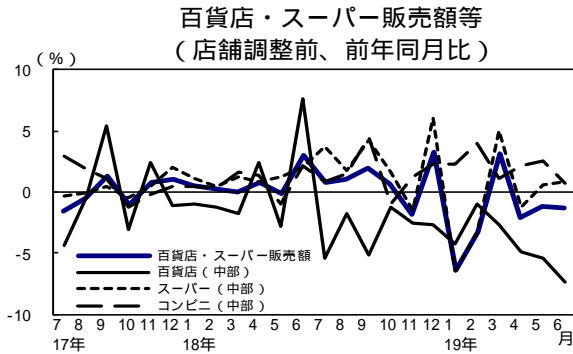
(1) 地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

4月は前月比0.0%増、5月は同0.7%増、6月は同0.2%増となった。

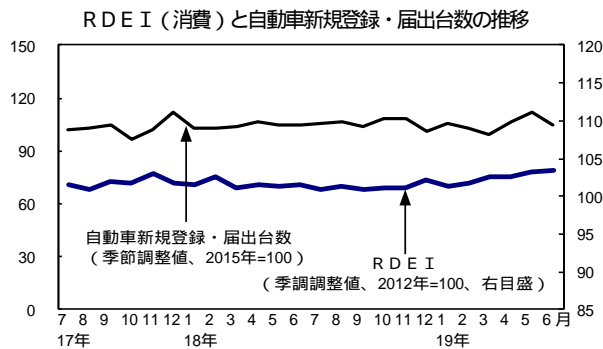
(2) 百貨店・スーパー販売額

百貨店は、4月は、衣料品等が振るわなかったことから、前年を下回った。5月は、衣料品等が振るわなかったことから、前年を下回った。6月は、衣料品等が振るわなかったことから、前年を下回った。

スーパーは、4 - 6月期は、飲食料品等に動きがみられたことから、前年を上回った。



	2019年4 - 6月	2019年4月	5月	6月
RDEI (消費*1)	1.2	0.0	0.7	0.2
百貨店・スーパー(*2)	1.5	2.1	1.1	1.3
百貨店(*3)	5.9	4.9	5.4	7.4
スーパー(*3)	0.1	1.3	0.6	0.9
コンビニ(*3)	1.8	2.1	2.5	0.7
乗用車(*4)	2.2	1.8	7.2	1.6
(季節調整値)(*4)	4.8	7.2	5.4	6.9



(備考) 1. 季節調整前(前期)比(%)

2. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

3. 店舗調整前、前年同期(月)比(%)

百貨店、スーパー及びコンビニは、経済産業省の中部(富山、石川、岐阜、愛知、三重)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比(%))

3. 雇用情勢

雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率は低下している。完全失業率は前期を上回っている。

